

公民館講座（民児協共催）「書き初め教室・お正月遊び」

今年も1月5日6日の両日「書き初め教室・お正月遊び」が市民センターで開かれた。私たち民児協も社会福祉協議会、青少年育成学区民会議、ワンダーランド協力者の方々とともに運営に参加した。

今年1年の決意を込めて

－5日（金）書き初め教室

恒例となった「書き初め教室」は、低学年は9時50分、高学年は11時00分から二部構成で開始。参加者は合わせて19名であった。

まず講師の浅野紀子先生「心を込めて書き初め」を仕上げるためには「ゆっくりと書くこと」が大事なことだと話された。続いて①「線の打ち込みは2秒」②「脇をあげて腕は『く』の字で」③「手のひらは下向き、おやゆびは人さし指より上」を意識して書くのがポイントだと実演を交えての指導があった。



低学年では初めて毛筆を握る子も、高学年では「さすがに」と思わせる子も。それぞれが時間いっぱい使って作品を5枚仕上げた。そのうち2枚を提出。1枚は学校へ、1枚は市民センターへ。

書き初め展のお知らせ

山中比叡平市民センター

1月9日（火）～1月25日（木）

住民交流センター

1月26日（金）～2月9日（金）



お正月遊び一風あげ

一昨年までの「お正月遊び」は室内での遊び（カラム・オセロ・百人一首カルタなど）が中心で、しかも「書き初め教室」の続き、同じ日の午後からだった。昨年「お正月遊び」は午前中から凧づくりをして作製した凧を市民グラウンドであげている。



参加者は26名。「やまのこひろば」の幼児さんから参加できる。幼児はできあいカイトにマジックで絵を描く。小学生以上はクレヨンで凧に絵を描いて、竹ひごにのり付けをし、糸を通して凧を完成させる。用意した見本から思い思いのものを選んで書いていた。中には独創的な絵を描いたり、「書き初め」教室で覚えた文字「戌」をデザインする子など、わいわいとにぎやかに、それでいて真剣に最後まで取り組んでいた。



さあいよいよ市民グランドへ 凧は風をはらみ大空へ

凧が完成、市民グランドへ出発。曇り空、風は大丈夫か。凧はあがるだろうか

風は強すぎも弱すぎもせず、吹いてくれている。すぐに風をはらみ大空へ。糸を繰り出せば繰り出すほどぐんぐんとあがる。あっという間の1時間だった。全員集合し

てドローンを使って集合写真を撮影。センターへ戻り昼食。

社協の皆さんが作ってくれた「おにぎりとすいとん」おいしかった。

昼食後また2階に集まり、閉会式。お菓子のつかみ取りとお土産を受け取り、2時に解散。楽しい1日だった。

(大塚製菓さんからお土産の一部を寄贈していただいた。)



写真集 (クリックしてください)